

平成30年 豊後大野市教育委員会 8月定例会 議事録

1 開催日時

平成30年8月27日(月曜日) 午前9時28分開会 午前11時26分閉会 (1時間58分)

2 開催場所

豊後大野市役所 2階 教育委員会室

3 出席者

委員 4名中3名出席

(出席委員等)

教育長 下田 博

1番委員 矢野 憲一

2番委員 藤居 あや (教育長職務代理者)

4番委員 衛藤 栄一

(欠席委員) 1名

3番委員 衛藤 恵子

事務局 5名出席

教育次長 萩原 憲士

学校教育課長 山田 忠司

社会教育課長 廣瀬 宏一

学校給食共同調理場長 衛本 浩二 (学校教育課参事 兼)

図書館長 太田 新子 (社会教育課参事 兼)

書記 1名出席

学校教育課 課長補佐兼教育総務係長兼学校教育係長兼人権教育係長 麻生 正文

4 付議事項等

報告事項

報告第9号 平成30年度 大分県学力定着状況調査結果に係る分析について

議事案件

議案第41号 豊後大野市公民館等の指定管理者制度導入に関する検討委員会委員の委嘱について

議案第42号 平成30年度 豊後大野市立学校児童生徒の就学援助の認定審査について

5 会議の概要

○出席者報告

萩原教育次長	おはようございます。 それでは、委員の皆さまお揃いですので、出席者の報告をさせていただきます。出席委員(3)名・欠席委員 衛藤恵子委員(1)名・そして教育長と教育委員会事務局(5)名の出席です。
--------	--

	それでは、教育長よろしく申し上げます。
--	---------------------

1 開会

下田教育長	(時候のあいさつの後) それでは、ただいまから平成30年8月豊後大野市教育委員会定例会を開会いたします。 (午前9時28分開会)
-------	---

2 前回議事録の承認

下田教育長	最初に 会議規則第6条第1項第2号の規定に基づき 7月26日開催の7月定例会 並びに 8月6日開催の第6回臨時会 の議事録の承認を求めます。議事録につきましては、事前に送付され、委員各位もご覧のことと思います。つきましては、事務局からの説明を省略し、承認手続を行います。議事録について、ご質問等を受けたいと思いますが、何かございますか。
全委員	(声なし)
下田教育長	よろしいですか。
全委員	(「はい」の声)
下田教育長	よろしいでしょうか。ご質問等がないようですので、7月定例会 並びに 第6回臨時会 の議事録を承認することに、異議ありませんか。
全委員	(「異議なし」の声)
下田教育長	異議なしと認め、承認します。

3 議事録署名委員の指名

下田教育長	続いて、会議規則第17条第2項の規定に基づき、本会議の議事録署名委員の指名を行います。4番 衛藤 栄一 委員 を指名します。よろしく申し上げます。
衛藤栄一委員	はい。(了承)

4 会期の決定

下田教育長	次に、会期の決定であります。付議事項等を勘案いたしまして、本日一日限りとしたしたいと思います。異議ありませんか。
全委員	(「はい、異議なし」の声)
下田教育長	異議なし と認め、本日一日限りと決定します。

本日の付議事項等は 報告事項 1件 と 議事案件 2件 の 計3件 です。よろしくお願ひします。

5 諸報告

(1) 教育長報告

下田教育長	諸報告に入ります。私の教育長報告ですが、資料をご覧ください。 (教育長が平成30年8月豊後大野市教育委員会定例会資料により報告する)
下田教育長	今の報告で、何かご質問がございましたら、お願ひします。
衛藤栄一委員	(LGBTに関して)この問題は相当勉強しないとイケないし、難しい問題だと思ひます。現場の先生方もですが、親御さんも、私もちょっと理解ができていないので、どういふ切り口でやて行くのかと思ひますが。研修とかをずっと継続して行ていくのでしょうか。
下田教育長	資料にあります「文部科学省の通知」で、既に文部科学省から手引き書が出されています。これを、今度是非お読みいただくと、現状の捉え方と学校教育としてしてはイケない指導手引きがあります。具体的に提示されています。それを読むだけでもかなりの学習ができると思ひますので、一度目を通していただきたいのと、これですね秘匿という、秘密にする、これが今の日本社会においては、それをオープンにするよりも隠すことの方が本人達の身を守るという、どうしても家族を含めて守ろうとするのですね。したがって、入学時に「こういうことはありますか。」と聞いても「私、そうです。」とは答えることはないです。言わないです。そこは、家庭訪問とか、どういふところで、何かしら違ふ場面で、こちらから信号を送って、それに保護者が対応していただて、守ることのできる環境づくりを当面は学校が行う。個々の指導については、手引きの中にも書かれていますので、「あなたは、こうですよ。」と他の人には「この子はこういう状態ですよ。」とかを端的に指導して行くのは逆効果であるという指摘もありますので、これは今衛藤栄一委員さんをご指摘いただいたように、先生方も勉強しないとイケないと思ひし、安易な対応をすると結果として非常にまずくなるということになりますので。17歳以降、本人達の主体的な主張の中で、本人がそれを公にしていく、そういうことが自然にできるように、周りが理解を示していくということが大事ではないかと思ひます。政治家の方々の中にも、性的マイノリティを受け入れ難い発言や考え方の方々もいらっしゃるようなので、日本社会の中ではなかなか受け入れ難い背景があるように思ひます。今のところ、学校現場からの報告現状はゼロ件です。
衛藤栄一委員	はい。
下田教育長	私がいただいた資料を、今度皆さんにお配りするようにしてください。手引き書と通知文を。

山田学校教育課長	はい。
下田教育長	お答えにならないかもしれませんが。
衛藤栄一委員	どう切っていいかも分からないので。難しすぎて。ありがとうございます。
下田教育長	よろしいですか。
全委員	(「はい」の声)
下田教育長	それでは、各課報告に移ります。

(2)各課報告

下田教育長	各課の主要な報告を順次、できるだけ簡潔にお願いします。はじめに、教育次長 お願いします。 (萩原教育次長が、教育長・教育次長分について 平成30年8月豊後大野市教育委員会定例会資料により報告をする)
下田教育長	それでは、続きまして 学校教育課長 お願いします。 (山田学校教育課長が平成30年8月豊後大野市教育委員会定例会資料により報告をする)
下田教育長	では、続きまして 学校給食共同調理場長 お願いします。 (衛本学校給食共同調理場長が平成30年8月豊後大野市教育委員会定例会資料により報告をする)
下田教育長	それでは 社会教育課長 お願いします。 (廣瀬社会教育課長が平成30年8月豊後大野市教育委員会定例会資料により報告をする)
下田教育長	それでは 図書館長 お願いします。 (太田図書館長が平成30年8月豊後大野市教育委員会定例会資料により報告をする)
下田教育長	各課報告が終わりました。ただいまの各課報告について ご意見、ご質問等がございましたら、お願いします。質問等受けたいと思います。 (各課等説明順に質問を確認する。)
下田教育長	(学校教育課分で)9/1の自殺者が多いということで、先程新学期の欠席状況

	(小学校27人・中学校37人と説明の中で、学校教育課長報告済)の報告がありました。割合としては多いのでしょうか。
山田学校教育課長	個々でいいますと小学校では発熱等が半数あります。中学校でいいますと、7～8割は不登校傾向にあるところで、今日学校に来られていない状況です。 (小学校27人[事故欠5・体調不良13・不登校傾向5・通院1]・中学校37人[不登校傾向25・遅刻見込7・病欠体調不良5])
下田教育長	今日の対応は、学校ではどのようにするのでしょうか。
山田学校教育課長	今日の朝、8時45分段階での欠席状況を把握させていただきました。特に、不登校又は欠席の理由がはっきりしないところには家庭訪問をして、状況を把握していただくように、学校には指示をしているところです。
下田教育長	はい。スタートがうまく切れないと、結局こういう状態になるということでしょうから、対応の指示をするようにしてください。他にございますか。いいですか。
全委員	(声なし)
下田教育長	次に学校給食共同調理場に移ります。
全委員	(声なし)
下田教育長	いいですか。
全委員	(「はい」の声)
下田教育長	社会教育課と図書館に移ります。
衛藤栄一委員	いいですか。
下田教育長	はい、どうぞ。
衛藤栄一委員	韓国のホームステイで、行ってまた受け入れをしますが。極端な話し、受け入れる子どもさんが行けるのでしょうか。
廣瀬社会教育課長	受け入れる子どもさんが、行きます。
衛藤栄一委員	そうですね。住宅事情を考えると、受け入れられない子どもさんは行けないということですね。
廣瀬社会教育課長	現状は、そうですね。
衛藤栄一委員	ちょっと私は現状受け入れられないけど、行かしたい方々に救いの手はないでしょうか。

廣瀬社会教育課長	今、現状で(アパート等の)住宅に住まれていると聞いて呼べないとかいう子どもさんには祖父母の家に泊まったりだとかはしています。あとは、1人で対応できないところは、他の受け入れの子ども達と組んで、例えば2対2とかの格好でやっています。先程いわれました、どうしても受け入れが出来ないご家庭はあると思いますので、その点は今後の課題として検討してみたいと思います。
衛藤栄一委員	難しいですね。交流が主なので、受け入れて欲しいというのがありますし、どうしてもできない子どもさんを救済するためにホテル対応をすると、皆さんそちらに流れてしまいそうな気もするので、最終的な手段として、ホストファミリー的なものを登録してもらうような対応もあるかなと、調べてみて「本当は、私も行きたかったけど、受け入れができないので行かなかった。」という事例がなかったかが、そこが少し気になったので、ご一考ください。
廣瀬社会教育課長	他の先生方からは、そのような相談はなかったのですが、そういうご希望の方も潜在的にいらっしゃると思いますので、先生方を通じてその辺も把握できたらと思っております。
衛藤栄一委員	お願いします。
下田教育長	実施ができなかったのですが、以前公募が少なくて、結局受け入れができないけど行くことはできるというものがあった、そこは複数で受け入れてもらって、公民館で5・6人一緒にという案を考えて、それでも無理にやりましょうという話しにはなったのですが、国際情勢で中止になったのです。それは、実施できていないのですが、ケースバイケースでは、出たときにはできるだけ受け入れをしているということです。補助の問題とか、そのお家でホームステイしたときの必要経費については補助をしていないのです。こちらで受け入れて使った費用は、向こうで受け入れてその分の費用を使ってもらおうという、暗黙の了解があるものだから、そこが経済的に厳しいところはなかなか手を挙げられないという実情があると思います。それに門戸を開くというのは、大変重要なので、まあ検討できれば少し考えてください。
下田教育長	他にございますか。
全委員	(声なし)
下田教育長	図書館長さん、「赤ちゃんのためのおはなし会」の赤ちゃんは何歳まででしょうか。
太田図書館長	0歳から2歳までです。
下田教育長	0歳の子どもさんでも、反応するのでしょうか。
太田図書館長	お母さん方が連れてこられて、短いお話をされたり、手遊びをしたり、わらべ歌をしたりするのですが、最初は落ち着かなくても30分の間に段々興味を示してき

	ます。それを繰り返すことが、大事ということをお聞きしています。是非、お越しく ださい。
下田教育長	すごいですね。どんなことをしているか、一度見に行かないといけないですね。 この頃の教育が役立つということですね。分かりました。
下田教育長	他に、ございますか。いいですか。
藤居委員	はい。
下田教育長	どうぞ。
藤居委員	(資料の事業報告にある)「大阪市立大学巡研」というのは、どういったことを研究 されるためにみえられているのでしょうか。
廣瀬社会教育課長	内容までは聞き及んではおりませんが、文化財系の事業ということで掲載をして おります。歴史とかジオとかで、他のところであったのは地質を調べて歩くので、 綿田の地すべりを学者や研究者が見に来たというのもありますので、細かい内 容は確認しておりませんが、研究のためにこちらに入って見て歩いているという ことだと思います。
藤居委員	向こうの方からこういうことを研究しているので、見せてくださいということですか。
廣瀬社会教育課長	(研究の)テーマとして、豊後大野市がふさわしいということで、お越しいただい ているということです。
藤居委員	分かりました。ありがとうございます。
下田教育長	他にございますか、よろしいですか。
全委員	(「はい」の声)
下田教育長	それでは、各課報告を終わります。 次の付議事項等に移りたいと思います。 順番からいくと、報告事項になりますが、時間がありますので、まず議事案件の 方から入ってよろしいでしょうか。
全委員	(「はい」の声)
下田教育長	それでは、次第の順序を変更して、まず議事案件に入ります。

6 付議事項等

○議事案件

議案第41号 豊後大野市公民館等の指定管理者制度導入に関する検討委員会委員の委嘱について

下田教育長	<p>続きまして、議案第41号 の審議に入ります。 事務局からの提案を 教育次長、説明を 社会教育課長 お願いします。</p> <p>(社会教育課長が平成30年8月 豊後大野市教育員会定例会資料により説明) <提案理由> 豊後大野市公民館条例(平成17年豊後大野市条例第114号)に規定する豊後大野市公民館及び豊後大野市体育施設条例(平成17年豊後大野市条例第122号)に規定する豊後大野市体育施設等の運営及び管理に関して指定管理者制度の導入を検討するため、別紙のとおり委員を委嘱したいので、豊後大野市教育委員会事務委任規則第2条第7号の規定に基づき教育委員会の承認を求めるものである。</p>
下田教育長	<p>ただいま、社会教育課長から説明がありましたが、この件について、ご意見、ご質問等がありましたらお願いします。</p>
全委員	<p>(「ありません」の声)</p>
下田教育長	<p>よろしいですか。</p>
全委員	<p>(「はい」の声)</p>
下田教育長	<p>それでは、議案第41号について、委員各位の賛否を求め、採決したいと思います。原案のとおり決定してよろしいでしょうか。</p>
全委員	<p>(「はい・異議なし」の声)</p>
下田教育長	<p>異議なしと認めます。議案第41号 豊後大野市公民館等の指定管理者制度導入に関する検討委員会委員の委嘱について は、原案のとおり決定します。</p>

○報告事項

報告第9号 平成30年度 大分県学力定着状況調査結果に係る分析について

下田教育長	<p>報告に入る前に、この報告に関しては、弓削指導主事の同席を求めたいと思いますが、よろしいでしょうか。</p>
全委員	<p>(「はい」の声)</p>
下田教育長	<p>それでは、弓削指導主事の入室をお願いします。</p>
下田教育長	<p>それでは、報告第9号 をお願いします。 事務局から 教育次長、説明を 弓削指導主事 をお願いします。</p> <p>(教育次長が平成30年8月 豊後大野市教育員会定例会資料により報告 詳細説</p>

	明を別冊資料にて弓削指導主事が行う)
	<p><提案理由></p> <p>平成30年度 大分県学力定着状況調査結果並びに結果に係る分析について報告するもの。[平成30年度 全国学力・学習状況調査 結果についても併せて報告を行う。]</p>
下田教育長	ただいま、弓削指導主事から説明がありましたが、この件について、ご意見、ご質問等がありましたらお願いします。
全委員	(声なし)
下田教育長	ありませんか。
衛藤栄一委員	いいですか。
下田教育長	はい、どうぞ。
衛藤栄一委員	小学校の分ですが、特定の学校が明らかに毎回高いのですが、地域性とかもあるのかもしれませんが、よく言われるのが、「学校が大きくなると、平均値が下がりがちだ」と昔から聞いていいいます。この学校だけがずっと高く、でもこの学校と同規模の学校はほぼ100人弱ぐらいで他にもあるのですが、この点は指導主事の先生はどうお考えでしょうか。この学校は地域性とかが高いのでしょうか。先生は異動もあるので、先生によるものでもないと思いますし、要因は地域性か家庭によるものかになると思うのですが。学習塾に行っている子どもの率が高いとか、いろいろあろうかと思うのですが。
弓削指導主事	まず、規模的には少人数小規模校が、体制的に個別の対応ができます。個に対応した指導が徹底されているのではないかと思います。
下田教育長	同規模の小学校は、どうして低いのでしょうか。
弓削指導主事	今、県・全国の調査は、地域全体の割合とかに視点が行くのですが、豊後大野市の学校単位の学校規模の授業のあり方とか、対応の仕方とか、そういった良い例・好事例を参考にしながら広めて行きたいと検討はしているところですが。
山田学校教育課長	明らかに、この(平均等が高い)小学校の校長が言われるのは、「読書量についてはどこの学校にも負けません。」と、1年生から3年生は平均年間300冊・4年生以上はページでいうと18,000ページですかね。やっぱり、じっくり読むとか、落ち着いて向き合うとか、客観的には学力の定着の部分には何らかの関係性はあるのかな、というふうには推測はしております。
衛藤栄一委員	学校の深度とか、取り組みに違いがあつてならわかるのですが、人数が同じぐらいの規模的にもレベルも同じ程度なのに、なぜこんなに差が出るのでしょうか。

か。平均点で、母体が小さくて、これだけの差が出るのはほんでもない差だと私は感じるのです。400人とかいて、絶大な問題があるのですが。この差は凄いことで、私が思うのはいい例があるので、逆にいうと悪い例もあるので、差を詰めやすいのではないだろうか、私らは思うのですが。人を育てるのは難しいとは思いますが。学力向上委員会に出ると毎回思うのですが、予定調和で〇をもらう前提で、〇をもらうための課題で、〇をもらうための目標で、〇をもらうための結果というもので、予定調和でのAとBの押し並べ、Bが悪いような、逆に平均点の悪い学校は全部Bでもよいのではないかと思うのですが。目標の立て方が、〇をもらうための設定になっている。子ども達も〇をもらうために、テストを受けている。私達の子どものときは、×をもらうのが重要で、×解決をしていたような気がするのですが。そういったところもあるのではないかとと思うのですが、皆さん予定調和で今回〇・〇…。学力向上会議に行くと、褒めちぎって終わり、でも悪い所を探そうというのがないなど、逆に私達が見るのは、地域的に大分市に近い学校は進学志向が強くていいのではないだろうか、単純にですけど。他の親御さんとかの話も聞いても、大学の話しが出るのは大分市に近い側の町の方だったりします。私の周りの方々はそのような話しはされないようなところがあります。そういった所からもあつたりするのではないだろうかと思うのですが。できれば、いい資料が出ているような気がするのです。誰かがガツンという話しを出してくれればと思います。何か打たないと、危機感が出ているデータが出ている気がするのです。よろしくお願いします。

下田教育長

他にないですか。

藤居委員

この資料を単純に見たときに、学校訪問時に「この授業を受けてみたい」という授業、その教室にいたいという空気感(雰囲気)、皆が授業にすごく集中していて、先生の質問に対してすごく答えようとする意識があり、発言をしようとする気持ちが前に向いているというか、そういう学校がすごくここに数字として現れているような気がします。この資料をもらって思ったのですが、逆に中学校になったら、今まで取れていたものがあまり数字として出ていないというのに、中学校で力を伸ばしきれない状況というのは、先生方が一生懸命授業をしてくださっているのに、子ども達がどうしても受身というか、小学校時のキラキラ感というか、中学校を見に行ったら、小学校を見に行ったらほど感じないかなというのは、数字にすごく表れている気が感想として思ったのですが、親としても中学校になったら急にあのときの情熱はどこに行ったのだろうか、言い聞かせてもなかなか耳にも入れてくれなくなるし、中学校に入ったときの最初のテストは点が取れてうれしいとなるのですが、だんだん「伸びないのは自分のせいではない」な逃げの姿勢に入っているのを親としてどうしていいかわからなかったところがあったので、自分の子どもで体験したので、目標というか、生きていくためにどうしたらよいか、中学生になって自分で考え、より現実的になったときに、その気持ちや思いを育てていけたらいいなと思いました。すみません。言葉が稚拙なのですが。

下田教育長

矢野委員、せっかくですから、どうぞ。

矢野委員

そうですね。人数が少ないところは、1人当たりじっくり時間を費やしていける

	<p>ところがあるのかなというのがあるのですが、やっぱり市内だけでなく、できている中学校って、「他の中学校ではこんなことをしているのだ。」と、子どものときから、「こんな中学生がいるのだ。」と感じさせる部分もあって、刺激が足りないのかなというところがあるのかなという感じがするのですが。中学校は、井の中の蛙と、そういう言い方をすると悪いのですが、狭いところで満足してしまっているというか、こういう人達も中にはいるのだなというところを、チラッと見せてあげることも必要なことかと思いました。</p>
<p>下田教育長</p>	<p>2学期以降の学力向上の施策のヒントを、今、3人の委員さん方からいただいたと思いますので、それが言葉として方針に打ち出されることを期待すると、当市が今キャリア教育を進めているのは藤居委員さんが言われたことだと思います。そういうことが、今後方針として出されてこない、全然つながりがない、ただ点数だけの分析で点数をどうするのか具体性が何もないという、各学校の分析を基に市教委としての分析というか、分析をした方針が打ち出されないと、これは結果だけですよ。結果分析は、今、衛藤栄一委員が言われたように、学校によって差があるのは、確かに人数だけの問題ではないのかもしれない。そういう分析の視点をもう少しやっぱり考えないと、毎年毎年同じことを繰り返した分析をただで、点数を並べるだけの分析が豊後大野市のもしかしたら点数・学力をこの10年間全く上げないまま来ているかもしれないし、その辺をせっかく弓削指導主事もかわられて学校現場からみえられていますので、新しい分析の視点を明確にしていけないというご指摘だろうと思います。今の3人の方の意見を入れて、次回方針を出すということでよろしいのでしょうか。山田学校教育課長。</p>
<p>山田学校教育課長</p>	<p>いいです。8月中に、各学校の学力向上会議が終わります。と同時に各学校等での研修報告もあがってきますので、そのことを分析しながら、市教委としての方針、特に今の教育方針に係る所を、それからまた先程言われましたキラキラの部分をもどのように考えていくか、ということについて、指導主事の中で今話しているところがありますので、まず次回方針を提示させていただきたいと思います。</p>
<p>下田教育長</p>	<p>次回また少し今の内容に意見をいただきまして方向を具体化して、毎年同じ点数だけが表示されているだけで前進がないような気がしますので、そこはお願いします。 よろしいですか。</p>
<p>全委員</p>	<p>(「はい」の声)</p>
<p>下田教育長</p>	<p>それでは、報告第9号については、これで終わりたいと思います。 (弓削指導主事 退出 一部要回収資料を回収した。)</p>

○議事案件

議案第42号 平成30年度 豊後大野市立学校児童生徒の就学援助の認定審査について

<p>下田教育長</p>	<p>続きまして、議案第42号 の審議に入ります。</p>
--------------	-------------------------------

<p>全委員</p> <p>下田教育長</p>	<p>この議案の説明及び審議内容等につきましては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項の規定に基づき、非公開 秘密会としたいと思います。よろしいでしょうか。</p> <p>(「異議なし」の声)</p> <p>異議なしと認めます。</p> <p>それでは、教育次長、学校教育課長のみで審議しますので、他の課長等は退席をお願いします。なお、学校教育課担当職員は臨席を認めます。それでは、ここで一時休憩に入ります。</p> <p style="text-align: right;">(午前10時30分)</p> <p style="text-align: center;">□□□ 一時休憩 □□□</p> <p>～ 社会教育課長・学校給食共同調理場長・図書館長・担当者退出 ～ ～ 学校教育課長・学校教育課担当職員(後藤清憲 副主幹)入室 ～ (午前10時43分開議)</p> <p style="text-align: center;">(非公開・秘密会) 開始</p> <p>※審査時は、教育次長、学校教育課長、学校教育課担当職員のみ臨席した。</p> <p>※審議結果は、審査対象者5名のうち、認定5名、不認定なし・保留なしであった。</p> <p style="text-align: center;">(非公開・秘密会) 終了</p> <p style="text-align: right;">(午前10時51分休憩)</p> <p style="text-align: center;">□□□ 一時休憩 □□□</p> <p>～ 学校教育課担当職員(後藤清憲 副主幹)退出 ～ ～ 社会教育課長・学校給食共同調理場長・図書館長・担当者・入室 ～ (午前10時53分開議)</p> <p>それでは、開議します。</p>
<p>下田教育長</p>	<p>それでは、開議します。</p>

7 その他

<p>下田教育長</p>	<p>続いて、その他 に入ります。</p> <p>まず、次第にあります件についてお願いします。</p> <p>・8/21開催「豊後大野市いじめ対策委員会」の状況について説明を 学校教育課長 お願いします。</p> <p>(学校教育課長が口頭にて報告した。)</p>
<p>下田教育長</p>	<p>豊後大野市が初めて第三者委員会を設置したということで、ご報告をさせていた</p>

	<p>できました。調査委員会は、全国各地でいろんな事例があったときに行っているのですが、決して調査委員会が主でなくて、いじめの未然防止対策のための委員会という認識を持っていただくということで、今日報告もさせていただきました。本市のいじめ対策について、毎年審議をしていただくということが役割になりますので、オープンで会議に入る場合には、(いじめ対策委員会の)委員長さんに承諾を得れば、会議に入れると思うので、来年可能ならば是非(教育委員さん方に)一度会議に参加していただいて、どういうことが議論されているのかを見ていただくとありがたいと思います。</p> <p>ご質問ございますか。</p>
<p>矢野委員</p>	<p>8月23日の合同新聞で、県教委がいじめの相談会を受け付けるという記事が載っていたのですが、この辺の担当の弁護士はどなたになるか決まっているのでしょうか。この方(市のいじめ対策委員の弁護士)とは違うのでしょうか。</p>
<p>山田学校教育課長</p>	<p>県教委には、「スクールロイヤー」制度というものがありますので、一つはその弁護士があたるのかとは思いますが、弁護士協会の輪番制でいじめ相談を受け付けていますので、私の方でどなたがそこにあたるかは認識していませんが、弁護士協会としてそこにいつでも相談にのれるように作って行こうと体制を作っているということは把握しています。</p>
<p>下田教育長</p>	<p>今、SNSのいじめ相談ということで、全国自治体で46自治体がLINEでいじめ相談を受ける、ただ匿名で来るので対応が厳しいということですけど、心の叫びをそのLINEに綴ることによって解決を図って行きたいと、大分県はそれにまだ取り組んでいないので、いじめ相談という電話で自治体としてはやりたいということです。もし、豊後大野市でそういう状況が酷くなれば、そういう対策も市独自で取る必要があるかと思うのですが、現状としてはSOSをどういう形で受け止めるかは検討になるのではないかと思います。</p>
<p>衛藤栄一委員</p>	<p>難しいですね。</p> <p>いじめられた症候群に近い子、「私はいじめられています。」と言う子もいるのです。私が見ても全然(そうではないのに)。その見極め度が厳しいかと。地味にとりあって欲しいから、いじめられているという子もいたりするので、本当にプロに相談しないと、いじめに関してもアクティブにいじめられている子が、自分がいじめられていることに気づかない子もいるし、いじめられていないのにいじめられていると言う子もいるし、複雑すぎて…。</p>
<p>下田教育長</p>	<p>そういう議論がいじめ対策委員会でできて、その対応を豊後大野市独自の対応策ができていくといいのかなというふうに思いますので、そういう実態把握を含めて議論になりましたので、少しつめて行きたいと、ただ先程学校教育課長がいったようにいじめ認知件数を増やすことがいいことではないとは、市教委としては持っています。もちろん、認知件数ゼロが目標ではあるのですが、(いじめ対策委員会)委員の方も「いじめゼロはありえないでしょう。」ということも一方ではご指摘を受けましたので、市教委としては当面は見逃しゼロで行こうということで、先生達が積極的にその人間関係を把握する中でいじめ報告をしていくという、認知をしていくという形にしているのです、あくまでもいじめの定義に添った形で対応</p>

	<p>するということさせていただくということです。今現在では、重大な事案は発生しておりませんが、言葉は悪いのですが、非常に幸いな状況にあるということです。先程の不登校37名ですか、欠席をしているということです。そこの関連性を少し学校に調査していただく必要があるのではないかと思います。また、2学期の方針が出たら提案をしてください。</p>
山田学校教育課長	はい。
下田教育長	次に、市教委学校訪問に係る日程等についてです。
山田学校教育課長	<p>・市教委学校訪問に係る日程等について 学校教育課長 お願いします。</p>
下田教育長	(学校教育課長が平成30年8月 豊後大野市教育員会定例会別冊資料により説明) === 事務局と教育委員とで、日程協議を行った。 ===
下田教育長	この内容で、調整に入りたいと思いますが、9月定例会時に再度内容や役割分担について再度、学校教育課長提案をお願いします。
山田学校教育課長	はい。
下田教育長	次に、要望書の内容についてです。
下田教育長	<p>・「三重総合高校の明日を拓く会」の県教委への陳情時の要望内容について 学校教育課長 お願いします。</p> <p>(学校教育課長が平成30年8月 豊後大野市教育員会定例会別冊資料により報告)</p>
下田教育長	義務教育としてそこを希望するというので、三重総合高校のオープンスクールが木曜日頃行われたと思うのですが、何人ぐらい参加したのでしょうか。
山田学校教育課長	人数については、弓削指導主事の方で把握してもらっているのですが、また弓削指導主事に当日参加をしてもらいました。来年度早々の課題にはなるのですが、今年度全ての中学生がまず三重総合高校のオープンスクールに参加したのが、大野中と朝地中の2校でした。このことについて、来年度以降、まずは全員がここに参加するという環境を作っていくこと、更には夏にPTAへの説明会がありました。このPTAの説明会、それから今回入学体験の説明会を含めて今までの中で一番分かりやすかったと、大変好評だったのですが、ここに集める人数や時期について、来年度からもう少し早く、それからもう少し人数を集めるということについて連携をしていかなければならぬと相談しているところです。
下田教育長	時間がないので、定員を割らないような具体的な施策を三重総合高校と話しをして、次回校長会議でするようにしてください。2年続けて定員割れを起こした場合には県教委がいったように、定員を減らしますということになるので、その責任

	は義務教育が感じないといけないと思うので、そこはよろしくお願いします。
山田学校教育課長	はい。
矢野委員	すみません。いいですか。
下田教育長	はい。
矢野委員	三重総合高校は開校して、自宅の前なので見ているのですが、開校当時は宇目から20人ぐらい来ていたのですが、この前宇目の方が来られたので聞いたのですが、「今何人ぐらい来ていますか。」と聞いたら、「多分来ていないと思う。」と言われたのです。どうしてかと尋ねたところ、佐伯市が全部交通費を出してくれるので、みんなそちらに行っていることと、延岡学園が迎えに来てくれるので、こちらには来てないとのことでした。もったいないなと思いましたし、宇目から佐伯に行くよりはこちらに来る方が20分ぐらいで近いので、そういう話を聞いて、そうなのだと初めて知って。
下田教育長	具体的な支援策を教育次長、検討してください。スクールバスを本格的に検討していただけないでしょうか、学校教育課長。朝地・大野経由とか、清川とか、JRが通っているところも早いので、スクールバスがコミュニティバスとセットで出るといいのですが。
衛藤栄一委員	いいですか。
下田教育長	はい、どうぞ。
衛藤栄一委員	オープンスクールは3年生対象でしょうか。
下田教育長・山田学校教育課長	そうです。
衛藤栄一委員	去年も一緒の話をしたのですが、3年生ではもう遅いと思っているので、2年生から、今はそんなに中学生はいないですよ。豊後大野市は他のところより先駆けて中学校2年生からオープンスクールに参加した方が、3年生でほとんど成績が決まってオープンスクールに行っても、目標設定として考えたときに学力を上げることにしても早めに行った方がいいと、行ける子が見に行くオープンスクールだったら別に、目標にしてくれる子が夢として見られるところもあった方がいいと思うので、思い切って2年生からやってみるのも手じゃないかなと思います。
藤居委員	私もそう思います。やはり、早い方がいいと思います。
矢野委員	奨学金の件ですが、あれは大学に行く人のためだけの奨学金で返済もしなくてよいではないですか、逆に地元に残る人に出す条件っていうのも半分ぐらい考えてもいいのではないかと。

下田教育長	そこは、教育次長どうでしょうか。
萩原教育次長	三重総合高校を応援する奨学金の件については、今現在見直しをしております。実際にどういうパターンで行くかというのは、議会等には提案はしていませんが、基本的に今の制度を検証して、次のステップに行こうということは今のところ間違いではないのですが、今言われたように定住促進を含めた、全体を考えた奨学金に変更したいという意向は今のところあります。
衛藤栄一委員	大学に行ってUターン奨学金のような、大学を終わって戻ってきたとき…。
萩原教育次長	基本、奨学金を受けた部分の支払に移る所で、その部分を市の方でみましょうかというものを、今編み出しています。全国でも奨学金の返済が厳しい状況にありますので、その分でこちらに帰ってくれば、何年間かの制約はあるかもしれませんが、半額若しくは全額若しくは…今のところ詳細は検討しているところです。
衛藤栄一委員	そうですね。
萩原教育次長	方向性はそちらの方で、これまた議会が認める・認めないもありますので、これについては内容をきちっと練って提案していきたいと思います。ただ、三重総合高校の奨学金については3年間続けていますので、まだ卒業生が出ていない状況で、来年の3月には進学状況が分かりますので、その辺を含めて検証をして、次の制度に移るか移らないかの判断をしたいというのが今の実情です。
下田教育長	是非、キャリア教育の具体性として2年生に(オープンスクール)というのはあっていい話だと思うのですが、なぜ実動しないのでしょうか。
山田学校教育課長	そうですね。三重総合高校にとっても悪い話しではないと思うので、この後高校に行きますので、早速この話しをしたいと思います。実は、今日こういう提案をいただいたという話しは伝えたいと思います。
下田教育長	3年生は8月というのを、時期を早めるということと、例えば、秋口に2年生を対象にオープンスクールを開いても三重総合高校もいいと思います。そういう計画を早急に立てるようにして、それこそ2年生が全員行けば3年生の時は希望の高校でよいという、2年生は全員三重総合高校に行って、今後の進路指導に役立ちます。それもいいかもしれません。3年生の段階で全員というよりは、2年生で全員、それは市が計画すれば高校は受け入れ側になれば、2年生は市教委でのキャリア教育の一環として方策を立てていくというのも検討してください。では、よろしいでしょうか。
全委員	(「はい」の声)
下田教育長	次に、運動会・体育祭についてです。
下田教育長	・体育祭・運動会の出席分担再確認について

下田教育長	<p>学校教育課長 お願いします。</p> <p>(学校教育課長が平成30年8月 豊後大野市教育員会定例会別冊資料により確認) 雨天時には、開催等の連絡を午前6時に出席する人へ学校教育課長が連絡を入れることとなった。</p> <p>次に、事務事業についてです。</p> <p>・「平成29年度事務事業 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価報告書」の市議会提出について 事務局 お願いします。</p> <p>(書記が平成30年8月 豊後大野市教育員会定例会別冊資料により確認・説明)</p> <p>変更点等ございましたが、ご意見・ご質問があればお願いします。</p> <p>(「大丈夫です。ありません。」の声)</p> <p>下田教育長</p> <p>では、これについてはお願いします。</p> <p>下田教育長</p> <p>委員さんの方から何かございましたらお願いします。</p> <p>全委員</p> <p>(「ありません」の声)</p> <p>下田教育長</p> <p>それでは、連絡調整に入らせていただきます。</p>
-------	--

8 連絡調整

○ 9月定例会 の日程調整

下田教育長	9月定例会の日程等について、教育次長 提案をお願いします。
萩原教育次長	<p>はい、それでは提案させていただきます。</p> <p>9月定例会につきましては、9月28日、金曜日 午前9時30分から開催したいと考えています。</p> <p>ご協議をお願いします。</p>
下田教育長	<p>ただいま、教育次長より 9月定例会を 9月28日金曜日 午前9時30分から開催、という提案がありましたが、皆さん、ご都合はどうでしょうか。</p> <p>===== 教育委員と事務局とで確認を行う ===== 協議の結果 9月26日水曜日 中体連新人戦の開会式後へ変更とした。</p>

下田教育長	9月定例会は、9月26日、水曜日 午前10時30分から開催します。よろしくお願いいたします。 他に連絡調整ございますか。
出席者全員	(声なし)
下田教育長	それでは、連絡調整を終わります。

9 閉会

下田教育長	それでは、これをもちまして、本日の日程は全て終了いたしました。 平成30年8月 豊後大野市教育委員会定例会を閉会いたします。 お疲れ様でした。 <p style="text-align: right;">(午前11時26分閉会)</p>
-------	---